

# 組合せ論若手研究集会プログラム

2005年2月8日(火)～2月10日(木)

場所：慶應義塾大学理工学部12棟209教室

2月8日(火)

座長：榎本 彦衛

13:00～15:00 小田 芳彰 (慶應義塾大学理工学部)

「グラフ理論と計算量」

グラフ理論は離散構造を対象とするため、アルゴリズムなど計算機科学と密接な関係にある。この発表では、計算量理論の初歩からはじめて、グラフ理論の種々の問題と計算量との関係について講演する。

15:30～16:00 杉山 武史 (神戸大学大学院自然科学研究科)

「次数和条件と指定辺を通る閉路の存在の関係」

16:00～16:30 宇野 美由紀 (茨城大学大学院理工学研究科)

「赤点と青点の平衡分割問題」

16:30～17:30 Problem session

2月9日(水)

座長：山下 登茂紀

10:00～12:00 鈴木 一弘 (茨城大学大学院理工学研究科)

「グラフの辺着色問題について」

13:00～15:00 中本 敦浩 (横浜国立大学教育人間科学部)

「曲面の偶角形分割のサイクルパリティについて」

2つの4角形分割が局所変形で移りあうかを判定するために定義されたサイクルパリティという代数的不変量が、representativity が大きい偶角形分割の染色数にも影響することについて述べる。

15:30～17:30 萩田 真理子 (お茶の水女子大学理学部)

「difference set について」

difference set の定義と性質、扱い方を紹介します。

2月10日(木)

座長：藤沢 潤

10:00～12:00 松田 晴英 (九州東海大学農学部)

「グラフ因子について」

様々なグラフ因子とその性質を紹介します。

13:00～14:30 山下 登茂紀 (慶應義塾大学理工学部)

「サイクルと次数和条件について」

15:00～17:00 石上 嘉康 (電気通信大学電気通信学部)

「Dense Graphs and Pseudo-Randomness」